取扱説明書

ColorNavigator™ Network

ネットワークカラーマネージメントソリューション

Version 1.0

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

目次 3

第 1 章　はじめに 4

1-1.　特長 4

1-2.　ソフトウェア構成 4

1-3.　ColorNavigator Networkの概要 5

- ユーザーアカウント 5
- 管理コンピュータの動作環境 5
- 管理可能なモニター 5

1-4.　メイン画面 6

- モニター管理 6
- グループ/ユーザー管理 7

第 2 章　ColorNavigator Networkの導入 8

2-1.　ColorNavigator Networkの導入 8

2-2.　ログイン/ログアウト 9

- ログイン 9
- ログアウト 9

2-3.　グループ管理 10

- 登録 10
- 編集 10

2-4.　ユーザー管理 11

- 登録 11
- 編集 11
- ログインユーザーの設定 12

2-5.　クライアントコンピュータの設定 13

第 3 章　モニター管理 17

3-1.　モニター一覧 17

- 絞り込み表示 17
- 表示内容の設定 18
- モニターの削除 19

3-2.　モニター詳細情報 20

3-3.　リモート制御 21

- モニター設定 21
- アップロード要求 26
- 資産情報の設定 27

第 4 章　こんなときは 29

付録 30

商標 30

第 1 章　はじめに

ColorNavigator Networkは、ネットワークに接続したコンピュータからWebブラウザを用いてサーバーにアクセスし、ColorNavigator NXまたはColorNavigator NetAgentソフトウェアがインストールされたコンピュータに接続した各モニターに対して、設定や資産情報を一括して管理するための支援ツールです。

1-1. 特長

- コンピュータ、モニターの一覧表示
  - コンピュータとコンピュータに接続されているモニターの一覧を表示
  - モニターの状態をネットワーク上で監視し、モニターの品質管理を支援
- モニターのリモート操作
  - モニターの設定

    SelfCalibration（目標およびスケジュール）、SelfCorrection（スケジュール）、およびカラーモード（タイプの切り替え※1、調整およびモードの有効/無効）の設定ができます。

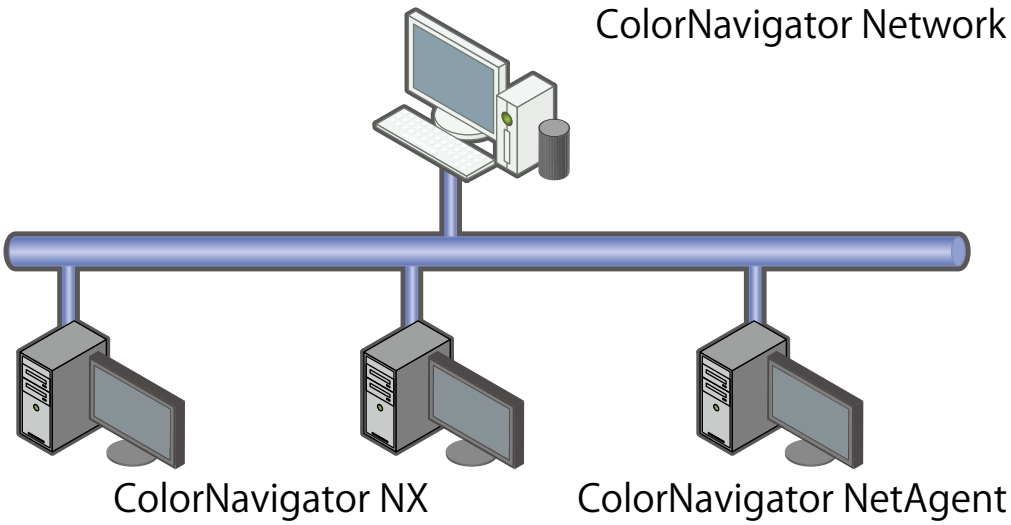
    ※1 機種によっては設定できません。詳細はColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。
  - 資産情報の設定

    個別のモニターに固有の資産情報を設定できます。
  - データアップロード要求

    調整目標および調整スケジュールの設定ができます。

1-2. ソフトウェア構成

ColorNavigator Networkはサーバー上で運用されるWebアプリケーションです。管理者はWebブラウザを使ってログインします。ColorNavigator Networkで管理するコンピュータには、ColorNavigator NXまたはColorNavigator NetAgentソフトウェアがインストールされている必要があります。管理者のコンピュータには、ソフトウェアをインストールする必要はありません。



1-3. ColorNavigator Networkの概要

● ユーザーアカウント

ユーザーアカウントには「システム管理者」、「通常ユーザー」、および「制限付きユーザー」の3種類があります。各ユーザーアカウントの違いは次のとおりです。ユーザーアカウントの追加および設定方法については、「2-4. ユーザー管理」（P.11）を参照してください。

○：対応、-：非対応

機能		システム管理者	通常ユーザー	制限付きユーザー
モニター情報の参照		○	○	○
モニターのリモート制御	モニターの設定	○	○	-
	資産情報の設定	○	○	-
	データアップロード要求	○	○	○
グループ / ユーザー設定		○	-	-

● 管理コンピュータの動作環境

- Adobe® Flashが動作するWebブラウザ※1

  ※1 動作条件の詳細は、Adobe社のWebサイトを参照してください。
  最新バージョンをお使いいただくことをお勧めします。

- 表示解像度：1280×1024以上を推奨

参考

- Linux環境のWebブラウザは、Firefoxを推奨します。

● 管理可能なモニター

ColorNavigator Networkは、ColorNavigator NXが動作するEIZO ColorEdge CX/CGシリーズモニターを管理できます。詳細は、ColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。CGシリーズモニターとCXシリーズモニターでは次のとおり可能な操作が異なります。

○：対応

操作		CGシリーズ	CXシリーズ
モニター情報の参照		○	○
モニターのリモート制御	モニターの設定	○	○※1
	資産情報の設定	○	○
	データアップロード要求	○	○

※1 CXシリーズモニターをリモート制御する場合、SelfCorrectionスケジュールは設定されますが、CALモードは未調整状態になります。ColorNavigator NXを使用してキャリブレーションをおこなってください。

1-4. メイン画面

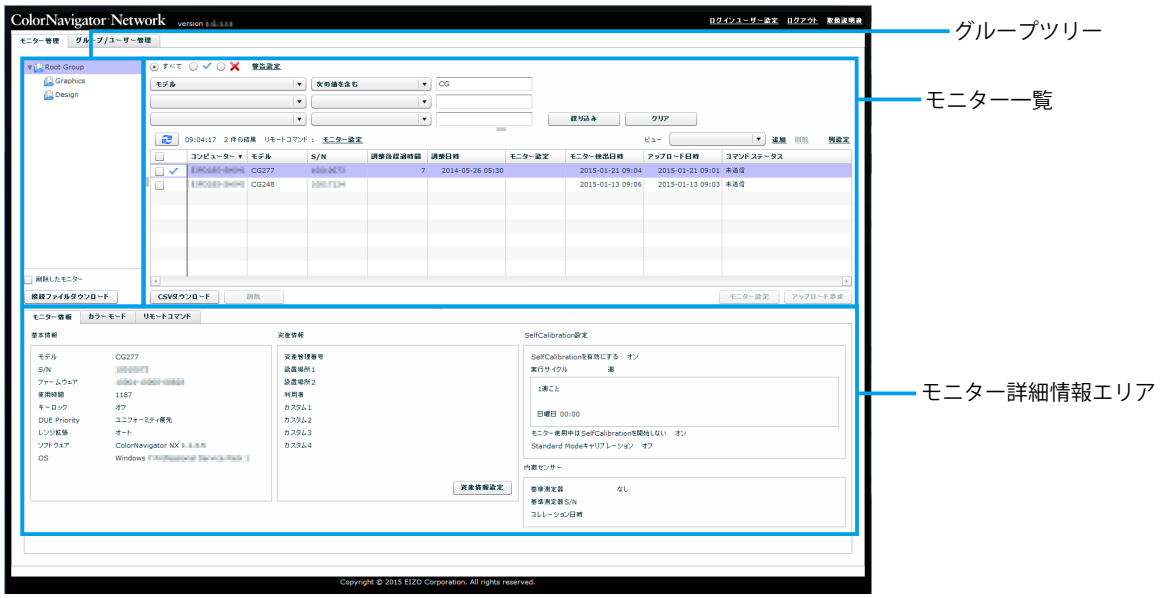
ColorNavigator Networkにログインすると、メイン画面が表示されます。メイン画面には、「モニター管理」画面と「グループ/ユーザー管理」画面があります。

注意

・レイアウトは予告なく変更される場合があります。

● モニター管理

接続されているモニターの情報を表示したり、モニターに対してリモート操作を実行できます。



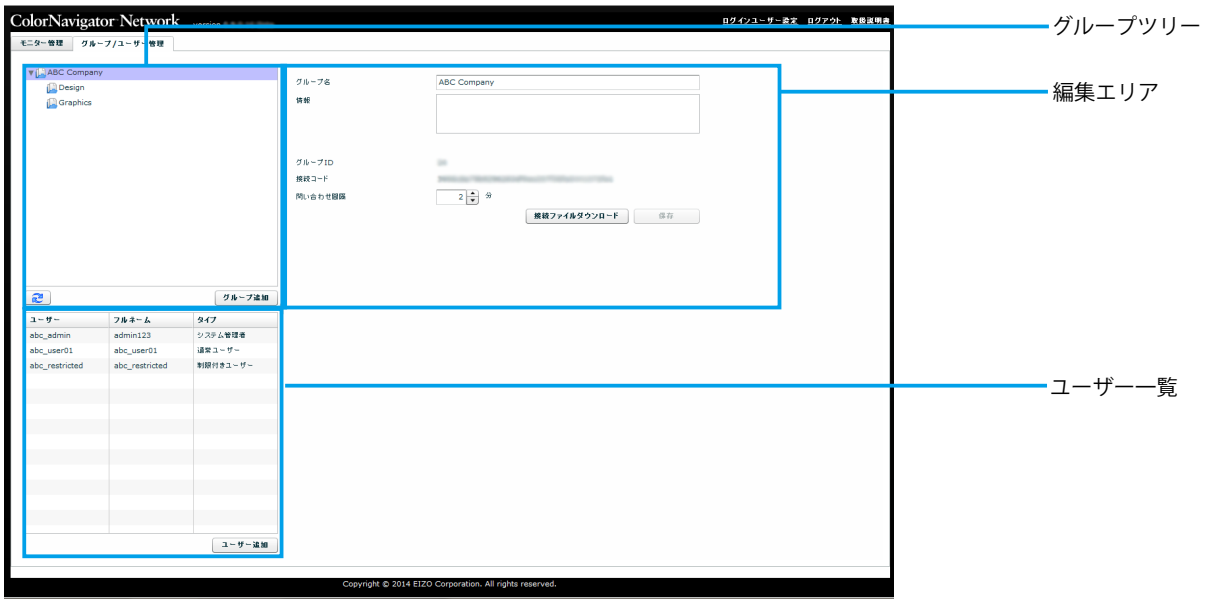
グループツリー	管理可能なグループを表示します。
モニター一覧	選択したグループで管理されているモニターを一覧表示します。
モニター詳細情報エリア	モニター一覧で選択しているモニターの詳細情報を表示します。 モニターの基本情報やカラーモード設定、リモートコマンド実施状況が表示されます。

● グループ/ユーザー管理

グループを管理したり、各グループに所属しているユーザーの表示、編集ができます。

参考

- 「システム管理者」でログインしたときに表示されます。



グループツリー	管理可能なグループを表示します。「グループ追加」ボタンでグループを追加することもできます。
編集エリア	選択したグループの情報を編集したり、各ユーザーの情報を表示します。
ユーザー一覧	グループツリーで選択中のグループに登録されているユーザーを一覧表示します。「ユーザー追加」ボタンでユーザーを追加することもできます。

第 2 章　ColorNavigator Networkの導入

ColorNavigator Networkを使用するためには、必要に応じて、グループの登録、ユーザーアカウントの追加、クライアントコンピュータの設定が必要になります。

2-1. ColorNavigator Networkの導入

導入手順は次のとおりです。

1. **ColorNavigator Networkにログインします（P.9）。**
2. **必要なグループを追加します（P.10）。**
3. **各グループに必要なユーザーを登録します（P.10）。**
4. **各グループの接続ファイルをダウンロードします（P.13）。**
5. **クライアントコンピュータを設定します（P.14）。**

2-2. ログイン/ログアウト

● ログイン

ColorNavigator Networkのご使用を申請いただくと、当社にてアカウント情報を登録します。登録作業が完了すると、当社からColorNavigator Networkにアクセスするための URL、ユーザーアカウント、およびパスワードをご提供いたします。当社から提供された情報に従い、ColorNavigator Networkにログインします。

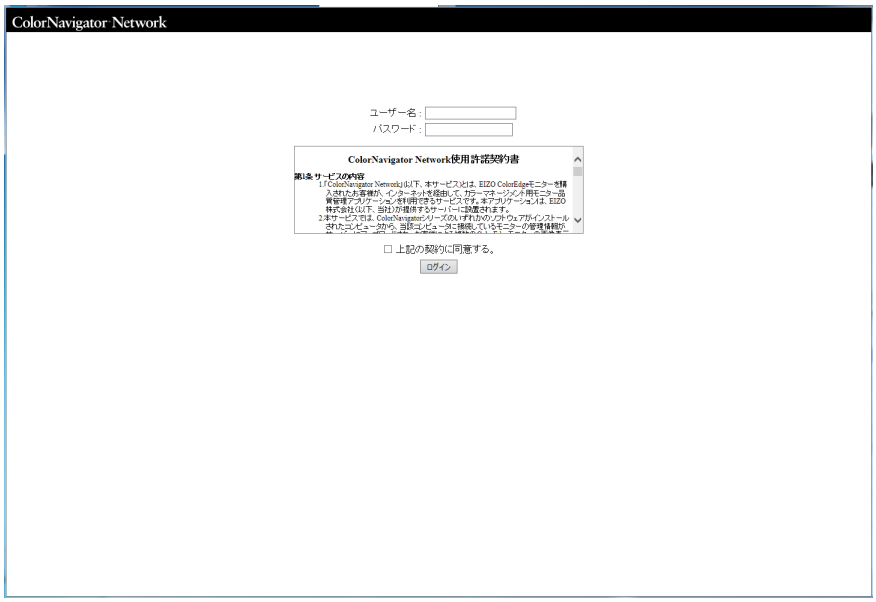
注意

・パスワードは定期的な変更をお勧めします。

参考

・ログイン後に操作せずに一定の時間が経過すると、自動的にログアウトします。

使用許諾の内容をよくお読みになり、使用許諾契約の条項に同意される場合は「使用許諾に同意する」のチェックボックスにチェックして、「ログイン」ボタンをクリックします。



● ログアウト

メイン画面の右上の「ログアウト」をクリックしてログアウトします。

2-3. グループ管理

グループを設定することができます。グループの中にグループを設定することもできます。グループは、メイン画面の「グループ/ユーザー管理」画面で管理します。

注意

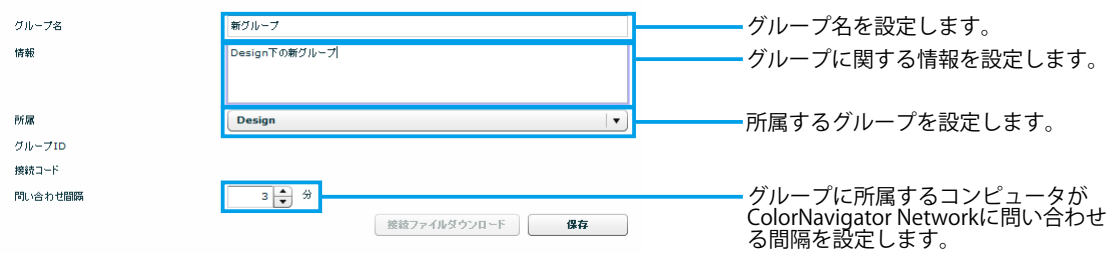
・一度作成したグループを削除することはできません。

参考

・グループを管理するには、「システム管理者」でログインする必要があります。

● 登録

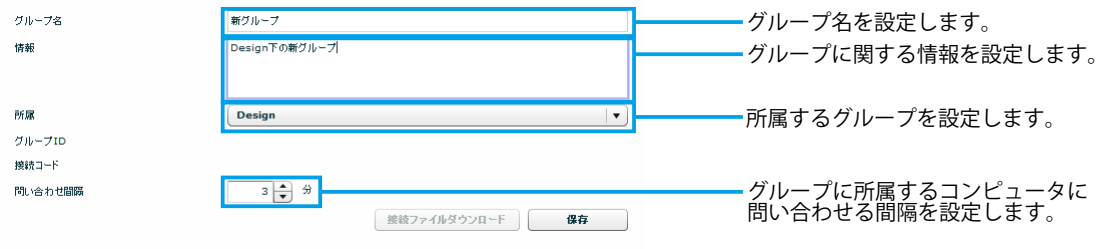
1. 「グループ/ユーザー管理」画面のグループツリーの下にある「グループ追加」をクリックします。
   編集エリアにグループ追加のための画面が表示されます。
2. 必要な情報を設定します。



3. 「保存」をクリックします。
   グループが作成され、グループツリーに表示されます。

● 編集

1. 「グループ/ユーザー管理」画面のグループツリーから、編集するグループを選択します。
   編集エリアにグループ編集のための画面が表示されます。
2. 必要な情報を設定します。



3. 「保存」をクリックします。
   グループの設定が保存されます。

2-4. ユーザー管理

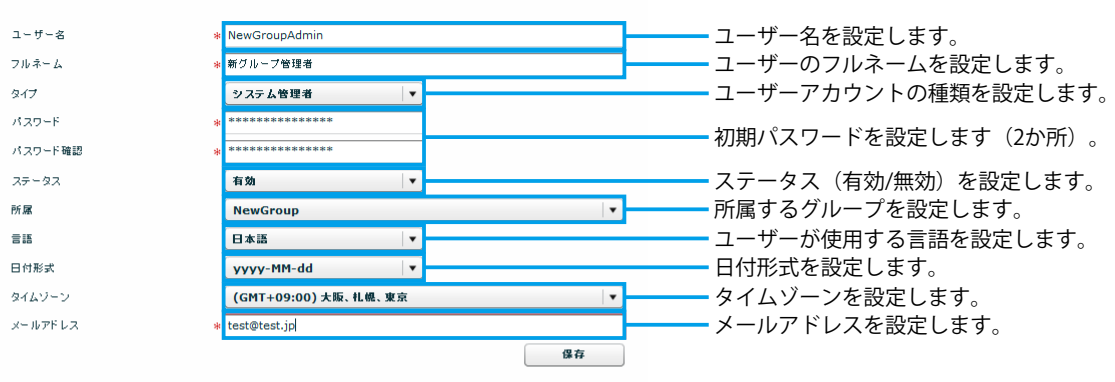
特定のグループに所属するユーザーを設定することができます。ユーザーは、所属するグループとその下位階層のグループの情報を参照することができます。

参考

・ユーザーを管理するには、「システム管理者」でログインする必要があります。

● 登録

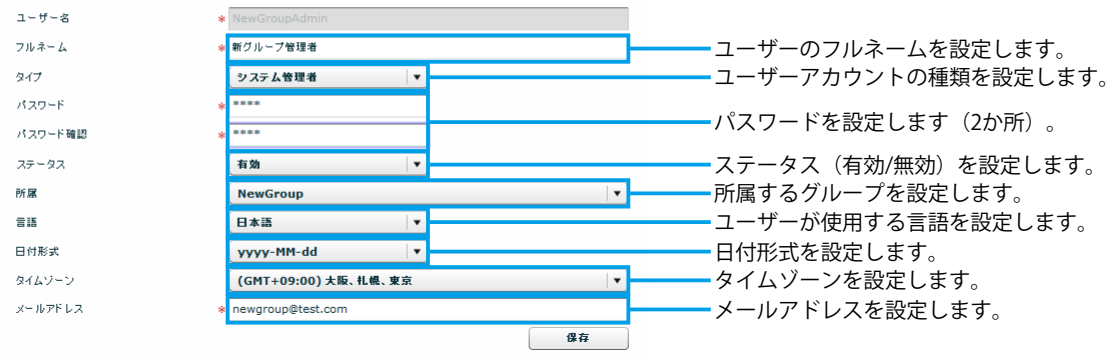
1. 「グループ/ユーザー管理」画面のユーザー一覧の下にある「ユーザー追加」をクリックします。
   編集エリアにユーザー追加のための画面が表示されます。
2. 必要な情報を設定します。



3. 「保存」をクリックします。
   ユーザーが作成され、ユーザー一覧に表示されます。

● 編集

1. 「グループ/ユーザー管理」画面のユーザー一覧から、編集するユーザーを選択します。
   編集エリアにユーザー編集のための画面が表示されます。
2. 必要な情報を設定します。



3. 「保存」をクリックします。
   ユーザー設定が保存されます。

参考

・一度作成したユーザーを削除することはできません。不要になったユーザーは「ステータス」を「無効」にすることで利用できなくなります。

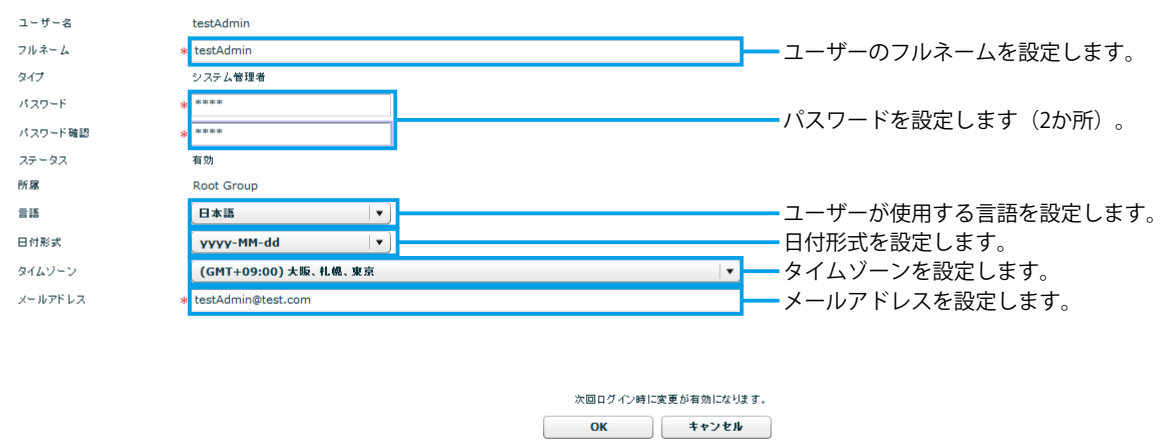
● ログインユーザーの設定

ログイン中のユーザー設定を変更できます。

1. 右上の「ログインユーザー設定」をクリックします。

ログインユーザー設定画面が表示されます。

2. 必要な情報を設定します。

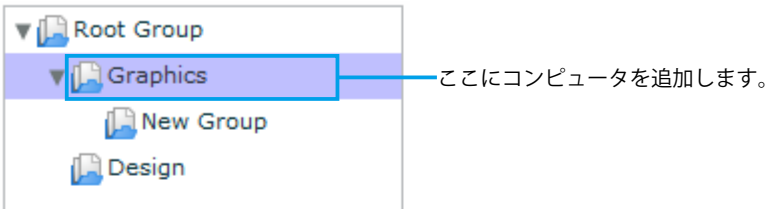


3. 「OK」をクリックします。

次回ログイン時に変更が有効になります。

2-5. クライアントコンピュータの設定

管理対象のモニターを接続しているすべてのコンピュータに対して、ソフトウェアをセットアップします。
ここでは例として、下の図の「Graphics」グループに、CG246が接続されているコンピュータを追加する手順を説明します。



1. 接続ファイルをダウンロードします。

1. ColorNavigator Networkにログインします。
2. グループツリーから「Graphics」を選択します。
3. 「接続ファイルダウンロード」をクリックします。

フォルダを選択し、Connection.xmlファイルをダウンロードします。

参考

- すべての種類のユーザーでダウンロードすることができます。

2. ダウンロードした接続ファイルをクライアントコンピュータのユーザーに配布します。

3. クライアントコンピュータを設定します。

● ColorNavigator NXがインストールされているコンピュータの場合

ColorNavigator NXを起動し、Connection.xmlファイルをインポートしてネットワークを設定します。詳細は、ColorNavigator NXの取扱説明書を参照してください。

参考

- インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、ColorNavigator NX で正しくプロキシを設定してください。

● ColorNavigator NXをインストールできないシステムの場合

ColorNavigator NXをインストールできないシステムの場合、ColorNavigator NetAgentをインストールすることでモニターを管理できるようになります。

参考

- 次のソフトウェアはColorNavigator NetAgentと同時に使用することはできません。次のソフトウェアがインストールされている場合、アンインストールしてから ColorNavigator NetAgent をインストールしてください。
  - ColorNavigator 6
  - ColorNavigator NX
- ColorNavigator NetAgent のシステム要件は ColorNavigator NX と同様です。詳細は、ColorNavigator NX の取扱説明書を参照してください。
- ColorNavigator NetAgent を使ってモニターを調整することはできません。また、SelfCalibration に対応していない機種では、ColorNavigator Network を使用して CAL モードを調整できません。ColorNavigator NX の使用をお勧めします。
- ColorNavigator NetAgent の入手方法については、当社担当者にお問い合わせください。

Windowsの場合

1. ダウンロードしたファイルを解凍します。
2. 作成されたフォルダ内の「setup.exe」ファイルが配置されているフォルダに、Connection.xmlファイルをコピーします。
3. インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「setup.exe」ファイルが配置されているフォルダのProxy.xmlファイルを編集し、プロキシサーバーを設定します。
4. 「setup.exe」を実行します。

参考

- ColorNavigator NetAgent のアンインストールは、次の手順でおこなってください。
  1. 「コントロールパネル」で「プログラムのアンインストール」を選択し、クリックします。
  2. リストから「CNNetAgent」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
- インストールおよびアンインストール時にはユーザーアカウントに「コンピュータの管理者」権限が必要となります。
- ユーザーアカウントの権限設定についてはシステム管理者に問い合わせてください。

Macintoshの場合

1. ダウンロードしたファイルを解凍します。
2. 作成されたフォルダ内の「CNNetAgent.pkg」ファイルが配置されているフォルダに、Connection.xmlファイルをコピーします。
3. インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「CNNetAgent.pkg」ファイルが配置されているフォルダのProxy.xmlファイルを編集し、プロキシサーバーを設定します。
4. 「CNNetAgent.pkg」を実行します。

参考

- ColorNavigator NetAgent のアンインストールは、次の手順でおこなってください。
  1. 「アクティブティモニタ」を起動して「CNNetAgent」を終了します。
  2. 次のファイルおよびフォルダを削除します。
     - /アプリケーション/CNNetAgent.app
     - /ライブラリ/Application Support/EIZO/ColorNavigator NetAgent
     - /ライブラリ/LaunchAgents/com.eizo.ColorNavigatorNetAgent.plist

Linuxの場合

1. ダウンロードしたファイルを解凍します。
2. 作成されたディレクトリ内の「install.sh」ファイルが配置されているディレクトリに、Connection.xmlファイルをコピーします。
3. インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「install.sh」ファイルが配置されているディレクトリのProxy.xmlファイルを編集し、プロキシサーバーを設定します。
4. 「install.sh」を実行します。

参考

- ColorNavigator NetAgent をアンインストールする場合は、解凍して作成されたディレクトリ内の「uninstall.sh」を実行します。
- インストールおよびアンインストール時にはユーザーアカウントに root 権限が必要となります。

参考

- Proxy.xml ファイルは次の内容になります。テキストエディターを使用して編集してください。

```
<Proxy Version=”1”>
 <Host>proxy.example.co.jp</Host>
 <Port>8080</Port>
</Proxy>
```

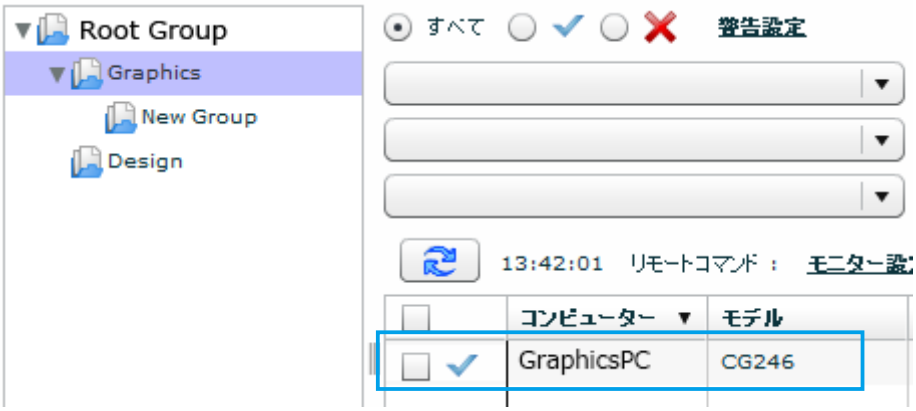
サーバーのアドレスを指定します。

ポート番号を指定します。

4. 接続を確認します。

1. ColorNavigator Networkにログインします。
2. グループツリーの「Graphics」を選択します。

   モニター一覧にモニターが表示されます。表示されない場合は をクリックします。



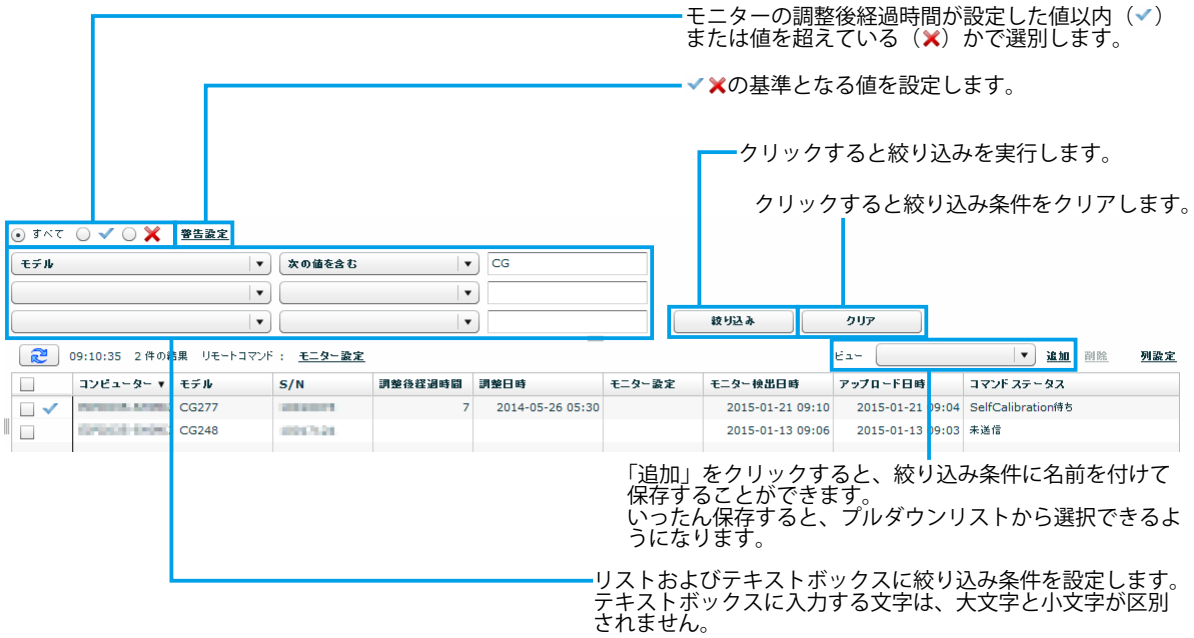
第 3 章　モニター管理

「モニター管理」画面では、モニターを個別に管理、または一括で管理できます。

3-1. モニター一覧

● 絞り込み表示

条件を設定して、一覧に表示されるモニターを絞り込むことができます。



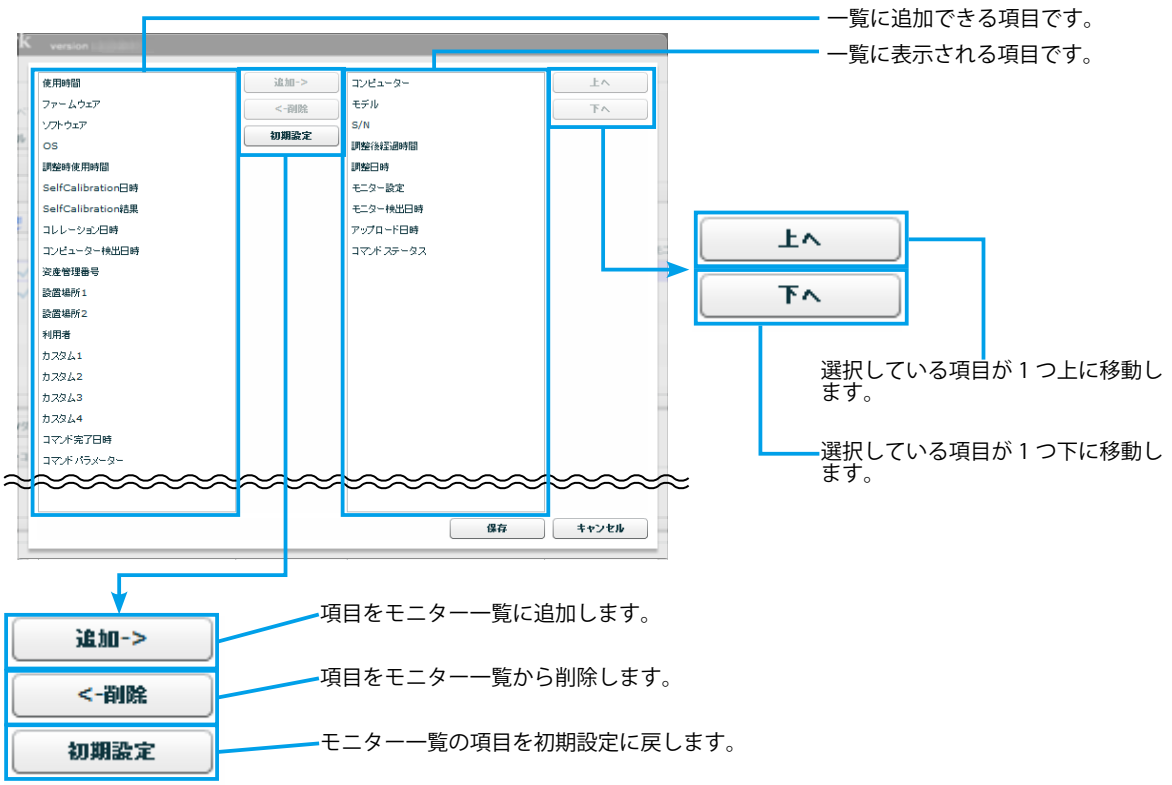
● 表示内容の設定

モニター一覧に表示する項目を変更することができます。

1. 「列設定」をクリックします。

列設定画面が表示されます。

2. 項目を追加または削除します。



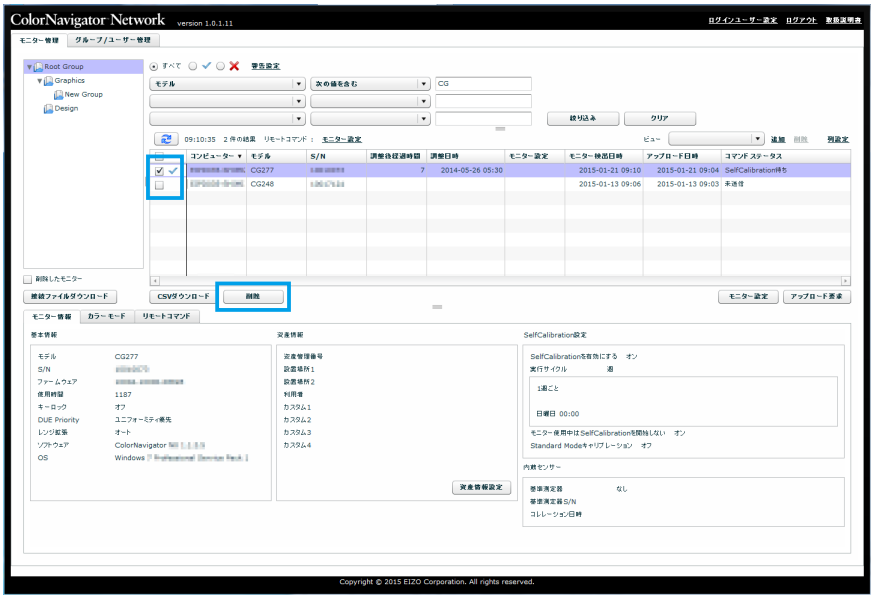
3. 「保存」をクリックします。

● モニターの削除

管理不要になったモニターをリストから削除することができます。

1. 削除するモニターを選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックします。

   選択したモニターが一覧から削除されます。



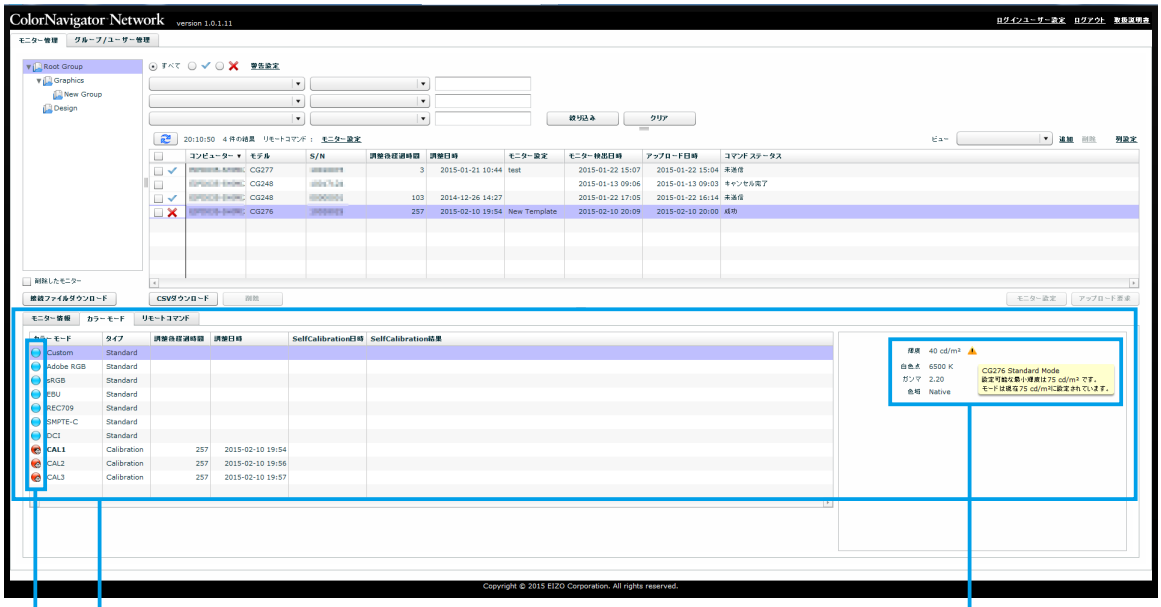
参考

- 削除したモニターを再度表示する場合は「削除したモニターを元に戻す」をクリックします。

3-2. モニター詳細情報

モニター詳細情報エリアには、モニター一覧（「3-1. モニター一覧」（P.17）参照）で選択しているモニターの詳細情報が表示されます。各タブをクリックすると、モニターの基本情報、カラーモード設定、リモートコマンド実施状況を切り替えて表示します。

「カラーモード」タブでは、調整目標、エミュレーションデータの状態が表示されます。



モニター詳細情報エリア

ColorNavigator Network で設定した輝度が、モニター本体で設定できる輝度の範囲を超えている場合、⚠が表示されます。⚠にマウスを重ねると、メッセージが表示されます。

マークの意味は、次のとおりです。

マーク	モニターの調整状態	マーク	モニター設定
青色	調整完了後のモニター使用時間が、設定値未満、または設定値なし		現在表示中のカラーモードです。
			SelfCalibration / SelfCorrection 目標に設定されているカラーモードです。
赤色	調整完了後のモニター使用時間が設定値以上		現在表示中のカラーモードです。
			SelfCalibration / SelfCorrection 目標に設定されているカラーモードです。
灰色	未調整		現在表示中のカラーモードです。
空白	モードが無効です。		

3-3. リモート制御

複数のモニターを一括制御することができます。

注意

- CXシリーズモニターをリモート制御する場合、次の制限があります。
- SelfCorrectionスケジュールは設定されますが、CALモードは未調整状態になります。ColorNavigator NXを使用してキャリブレーションをおこなってください。

● モニター設定

モニター設定をモニターに送信します。モニター設定で送信される内容は次のとおりです。

カラーモード設定	• すべてのカラーモードについて、次の内容を設定します。 - カラーモードのタイプ（Calibration / Standard）※1 - SelfCalibrationの調整目標（Calibrationモード） - 調整設定（Standard Mode） 輝度、白色点（色温度）、ガンマおよび色域※1を設定します。
SelfCalibration 設定	• 次の内容を設定します。 - SelfCalibrationの有効/無効 - SelfCalibrationスケジュール - Standard Modeキャリブレーションの有効/無効
キーロック設定	• モニターのキーロックの有効/無効を設定します。

※1 CG245W、CG246、CG275W、CG276では設定できません。

● 設定手順

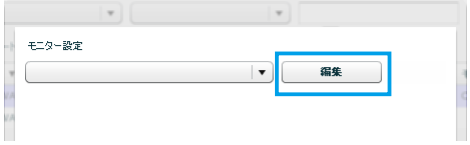
1. モニター一覧で、対象のモニターを選択します。

「モニター設定」ボタンが有効になります。

2. 「モニター設定」をクリックします。

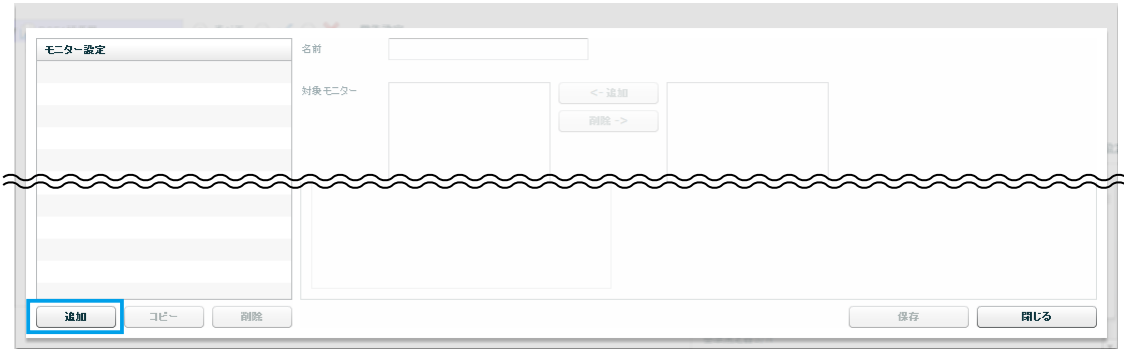
モニター設定の選択画面が表示されます。設定データを作成する必要があります。初回はプルダウンリストには何も表示されません。

3. 「編集」をクリックします。



モニター設定の作成画面が表示されます。

4. 「追加」をクリックします。



設定内容が編集できるようになります。

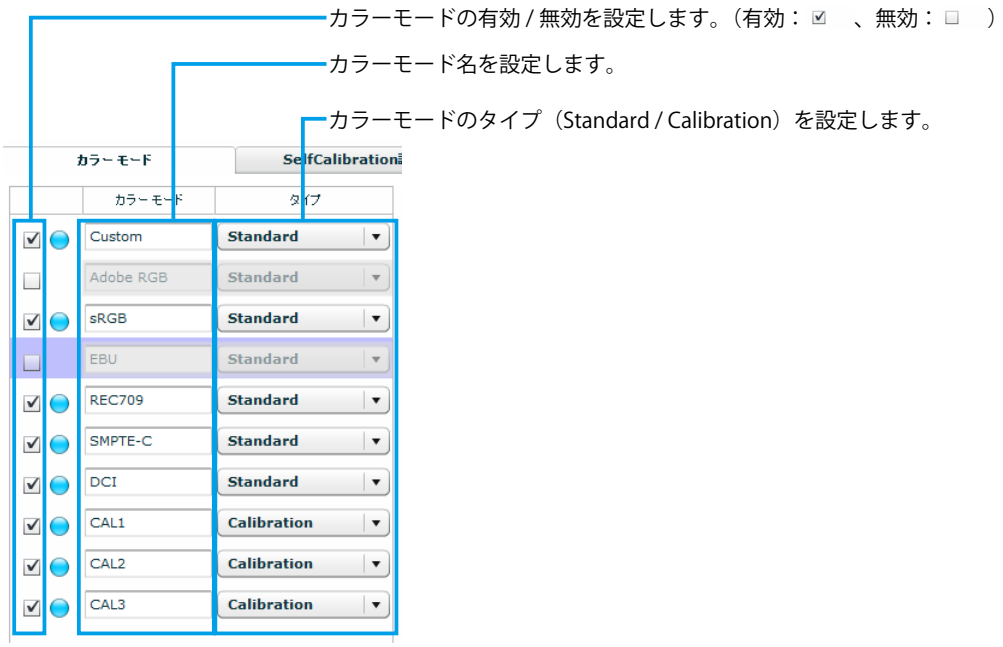
5. 設定名を編集します。

6. リストから追加、削除して、対象モニターを選択します。

7. 「カラーモード」タブをクリックして、カラーモードを設定します。

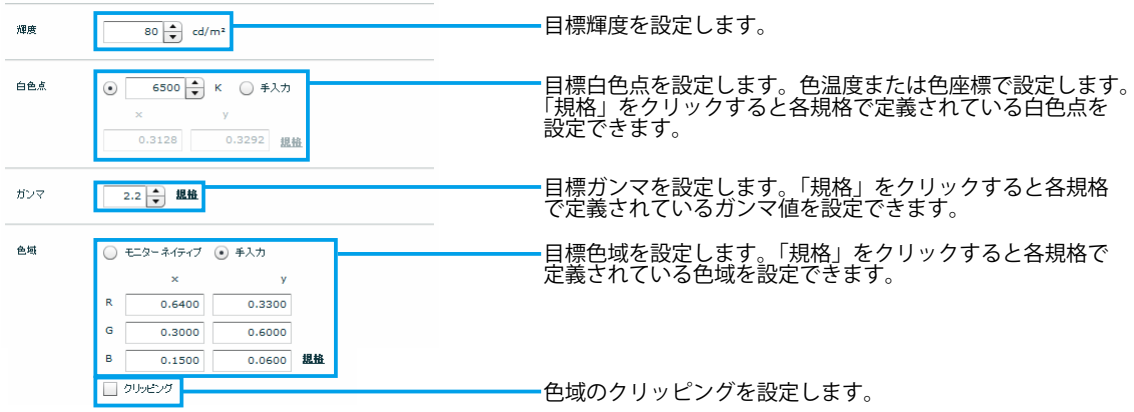
注意

- 設定できる内容は機種によって異なります。



Calibrationモード

SelfCalibration の調整目標を設定します。

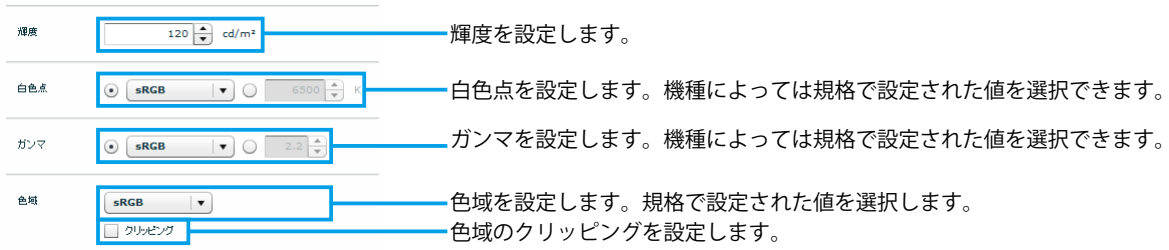


注意

- SelfCorrection対応モニターの場合、調整目標はモニターに送信されますが、自動では調整されません。ColorNavigator NXを使用して手動で調整する必要があります。

Standard Mode

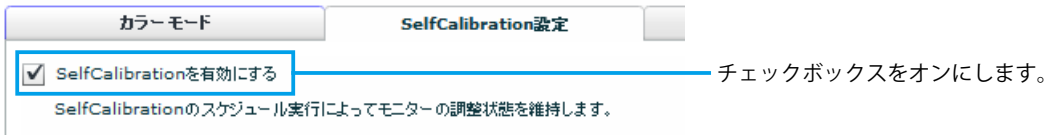
輝度、白色点、ガンマ、色域の調整値を設定します。



8. 「SelfCalibration設定」タブまたは「SelfCorrection設定」タブをクリックして、SelfCalibration / SelfCorrectionを設定します。

SelfCalibrationの場合

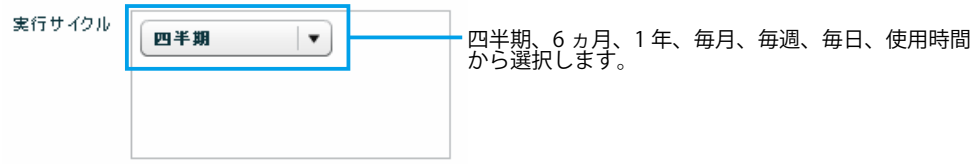
1. SelfCalibration機能を有効にします。



2. SelfCalibrationを実行する周期/実行サイクルを設定します。

注意

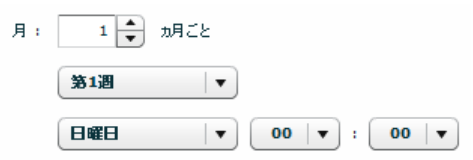
• お使いの機種によって、選択できる設定が異なります。



3. SelfCalibrationが完了してから次の実行までの間隔、または実行する時期を設定します。

注意

• 手順2で設定した周期/実行サイクルによって、設定内容が異なります。

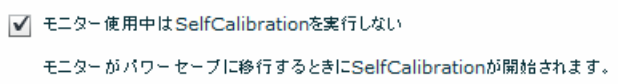


周期	設定内容
月	実行する間隔、週、曜日、時刻を設定します。
週	実行する間隔、曜日、時刻を設定します。

実行サイクル	設定内容
四半期、 6 ヵ月、 1 年	実行する月、週、曜日、時刻を設定します。
毎月	実行する週、曜日、時刻を設定します。
毎週	実行する曜日、時刻を設定します。
毎日	実行する時刻を設定します。

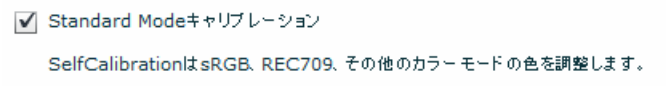
周期/ 実行サイクル	設定内容
使用時間	モニターの使用時間を設定します。

4. SelfCalibrationの実行タイミングを設定します。



- チェックボックスをオンにすると、モニターがパワーセーブに移行したとき、またはモニターの電源をオフしたときに SelfCalibration が実行されます。
- チェックボックスをオフにすると、モニターの使用状態に関係なく、設定したスケジュールどおりに SelfCalibration が実行されます。

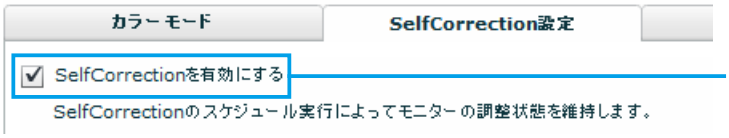
5. SelfCalibration実行時にStandard Modeキャリブレーションを実行するかを設定します。



- チェックボックスをオンにすると、SelfCalibration 実行時に Standard Mode キャリブレーションが実行されます。

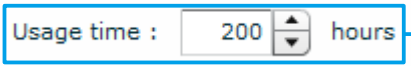
SelfCorrectionの場合

1. SelfCorrection機能を有効にします。



チェックボックスをオンにします。

2. SelfCorrectionが完了してから次の実行までの間隔を設定します。



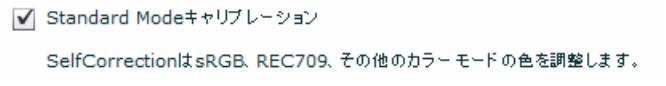
モニターの使用時間を設定します。

SelfCorrection を実行する周期 / 実行サイクルは「使用時間」のみです。
また、SelfCorrection の実行タイミングは、モニターがパワーセーブに移行したとき、またはモニターの電源をオフしたときです。

3. SelfCorrection実行時にStandard Modeキャリブレーションを実行するかを設定します。

注意

- 「Standard Modeキャリブレーション」に対応していないモニターの場合、この設定は表示されません。

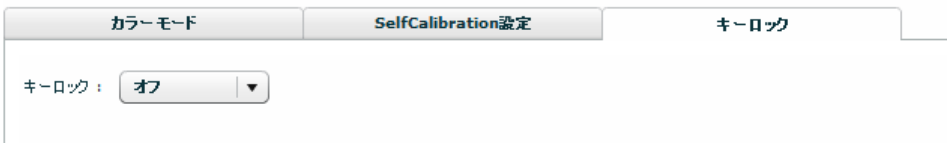


- チェックボックスをオンにすると、SelfCorrection 実行時に Standard Mode キャリブレーションが実行されます。

注意

- SelfCalibration / SelfCorrectionはColorNavigator NXで調整した状態を維持するためにお使いください。
- SelfCalibration / SelfCorrectionを実行した場合、システムのカラープロファイルは更新されません。カラープロファイルの更新が必要な場合はColorNavigator NXを使用して調整をおこなってください。

9. 「キーロック」タブをクリックして、キーロックを設定します。



モニターの操作ボタンをロックするか選択できます。

設定	ロックできるボタン
メニュー	ENTER ボタン
オール	⏻を除くすべてのボタン
オフ	なし（すべてのボタンが有効）

10.手順6.で選択したそれぞれの機種に対して、すべての設定が完了したら「保存」をクリックします。

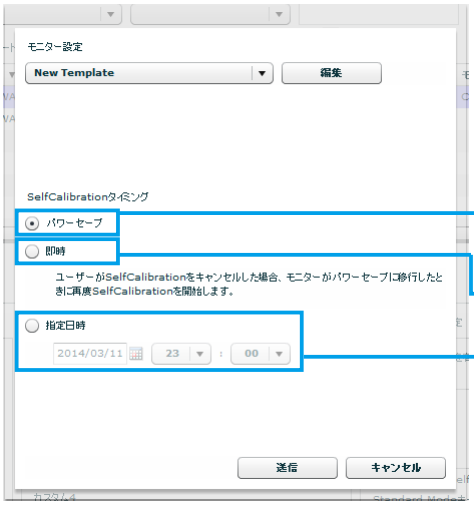
モニター設定が保存されます。

11.「閉じる」をクリックします。

12.SelfCalibration対応機種の場合、最初のSelfCalibrationの実行タイミングを設定します。

参考

- SelfCorrection対応機種の場合は、ColorNavigator NXを使用してCALモードのキャリブレーションをおこなってください。
- モニター設定を反映させるために、モニターのSelfCalibrationを実行する必要があります。



モニターがパワーセーブに移行するときに SelfCalibration が開始されます。

クライアントコンピュータがモニター設定を受信するとすぐに SelfCalibration が開始されます。

指定した日時に SelfCalibration が開始されます。
3 ヶ月先まで設定できます。

13.「送信」をクリックします。

モニター設定がクライアントコンピュータに送信されます。モニター設定の実施状況はモニター詳細情報エリア（P.6）で確認できます。

● アップロード要求

選択したモニター情報を最新の状態にするために、クライアントコンピュータにデータアップロード要求を送信できます。

● 要求手順

1. モニター一覧で、対象のモニターを選択します。

対象のモニターにチェックします。

「アップロード要求」ボタンが有効になります。

2. 「アップロード要求」をクリックします。

確認メッセージが表示されます。「送信」をクリックするとアップロード要求がクライアントコンピュータに対して送信されます。データアップロードの実施状況はモニター詳細情報エリア（P.6）で確認できます。

● 資産情報の設定

モニターに固有の資産情報を設定することができます。設定した情報はモニターに保存されるため、他のコンピュータにインストールされたColorNavigator NXから確認しても同じ資産情報が表示されます。

注意

- 複数のモニターの資産情報を同時に設定することはできません。1台ずつ設定してください。

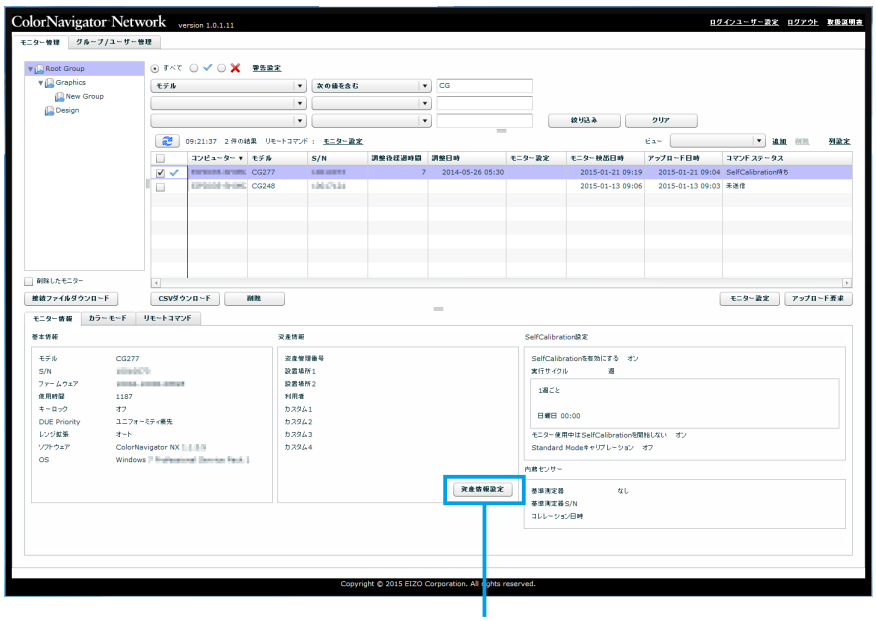
● 設定手順

1. モニター一覧で、対象のモニターを選択します。

参考

- チェックする必要はありません。

2. モニター詳細情報エリアの「資産情報」にある「資産情報設定」をクリックします。



「資産情報設定」をクリックします。

資産情報設定画面が表示されます。

3. 資産情報を設定します。
   必要な情報を入力します。

4. 「送信」をクリックします。
   資産情報がクライアントコンピュータに対して送信されます。実施状況はモニター詳細情報エリア（P.6）で確認できます。

第 4 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、当社にご相談ください。

症状	原因と対処方法
1. メイン画面が表示されない	• Web ブラウザに Adobe® Flash がインストールされていることを確認してください。
2. モニターが検出できない	• クライアントコンピュータの ColorNavigator NX または ColorNavigator NetAgent ソフトウェアの設定を確認してください。
3. モニターが違うグループに表示される	• 不適切な接続ファイルをインポートしている可能性があります。正しい接続ファイルをインポートし直してください。
4. パスワードを忘れたユーザーがいる	• システム管理者アカウントでログインして、パスワードを再設定してください。
5. ログインできないユーザーがいる	• ユーザーアカウントが無効になっていないか確認してください。

付録

商標

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
Acrobat、Adobe、Adobe AIR、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD Opteron は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTime は Apple Inc. の登録商標です。
ColorMunki、Eye-One、X-Rite は X-Rite Incorporated の米国および / またはその他の国における登録商標または商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2 は DataColor Holding AG の米国における登録商標です。
Spyder3、Spyder4 は DataColor Holding AG の商標です。
ENERGY STAR は米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
GRACoL、IDEAlliance は International Digital Enterprise Alliance の登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPA カラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
NEC は日本電気株式会社の登録商標です。
PC-9801、PC-9821 は日本電気株式会社の商標です。
NextWindow は NextWindow Ltd. の商標です。
Intel、Intel Core、Pentium、Thunderbolt は Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。
Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
PowerPC は International Business Machines Corporation の登録商標です。
PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
RealPlayer は RealNetworks, Inc. の登録商標です。
TouchWare は 3M Touch Systems, Inc. の商標です。
Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
YouTube は Google Inc. の登録商標です。
Firefox は Mozilla Foundation の登録商標です。
Kensington、MicroSaver は ACCO Brands Corporation の登録商標です。
EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManager、Re/Vue は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor Pro は EIZO 株式会社の商標です。
C@T-one、FlexView は EIZO 株式会社の日本登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

EIZO株式会社

http://www.eizo.co.jp

第 3 版　2015 年 2 月

03V25034C2
(U.M-CNNET)

Copyright © 2014-2015 EIZO株式会社 All rights reserved.